KOTOKU BLUE

KOTOKU GROUP CSR報告書2019

街が染まる、
興徳色（きれい）に。

KOTOKU GROUP www.kotoku-g.co.jp

興徳ホールディングス株式会社
〒596-0817
大阪府岸和田市岸の丘町二丁目2番15号
TEL:072-489-2750(代)

株式会社興徳クリーナー
〒596-0817
大阪府岸和田市岸の丘町二丁目2番15号
TEL:072-444-0634(代)

株式会社ケーシーエス
〒596-0817
大阪府岸和田市岸の丘町二丁目2番15号
TEL:072-443-8723(代)

KOTOKU GROUP

地域から世界まで繋げる

KOTOKU GROUP × 岸和田 × SDGs

4 質の高い教育をみんなに
6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさも守ろう
16 平和と公正をすべての人に
17 パートナーシップで目標を達成しよう

CONTENTS

P.01-02
KOTOKU GROUP × 岸和田 ×SDGs

P.03-05
会社紹介
- 興徳ホールディングスについて
- 代表メッセージ
- 環境・労働安全衛生方針

P.06-14
KOTOKU GROUPの取り組み
- SDGsへの取り組み
- 台風21号被害に対する当社の活動
- CSR委員会
- 試験研究

P.11-14
資源の循環
- バリューチェーンマネジメント
- マテリアルバランス

P.15-20
事業所・工場紹介
- 尾生工場
- 岸之浦工場
- 稲葉事業所

P.21-25
事業体制について
- 優良認定・許可・社内管理体制
- 環境保全、労働安全衛生活動
- BCP
- 部門別業務改善に関する取り組み
- 安全への取り組み
- 資格一覧

P.26
地域とKOTOKU GROUP
- 地域コミュニケーション
- 第三者レビュー

会社紹介

WE CONTRIBUTE TO CONSERVING THE GLOBAL ENVIRONMENT.

私たちの使命は、世界の環境保全に貢献することです。

経営方針

私たちKOTOKU GROUPの社是

**私たちの使命を果たすために
「人を大切に、物を大切に」を社是と定めます。**

人を大切に

お客様に優れたサービスを提供するために、地域や社会に貢献するために、社員の豊かな自己表現のために、情報を常に発信し、相互理解を深め、安全に配慮された活動をすることは「人を大切にする」ことに他なりません。これは私たちが永続的に事業活動を続けて行く上で不可欠なことです。

物を大切に

3R（Reduce,Reuse,Recycle）の活動とは、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会（循環型社会）をつくろうとすることです。これは、「物を大切にする」ことに他なりません。これが私たちが目指す新しいビジネスの基本となる考え方です。

経営目標

私たちKOTOKU GROUPの具体的目標

先進的で持続可能な企業経営を目指す

挑戦する姿勢を常に持ち、企業の継続的発展を目指すとともに、揺るぎない財務基盤を構築する。

処理技術の確立と新たな環境技術を創造する

最適な処理技術の確立と新たな環境技術の開発・実用化を行い、オンリーワン環境創造企業を目指す。

円滑な企業環境を構築する

社外に対しては常に情報を発信し、円滑な関係を構築するとともに、社内に対しては環境のスペシャリストとなれる人材を育成する。法令順守の徹底のもとに企業の社会的責任を全うする。

ステークホルダー
KOTOKU GROUPのつながり

お客様・ビジネスパートナー
従業員
KOTOKU GROUP
地域の人々
環境

興徳ホールディングスについて

2017年11月、株式会社興徳クリーナーならびに株式会社ケーシーエスの持株会社として興徳ホールディングス株式会社を設立し、循環型社会の構築に向け、またなによりお客様に愛される企業として前進し続けるためにホールディングス体制を構築いたしました。既存ビジネスの強化はもちろん、新規ビジネスへの進出も行い、更なる成長を目指してまいります。

本　社	<営業・経理・財務・マニフェスト> 〒596-0817 大阪府岸和田市岸の丘町二丁目2番15号	TEL:072-489-3010 FAX:072-489-3011
尾生工場	<中間処理（汚泥）> 〒596-0816　大阪府岸和田市尾生町1649番地の1	TEL:072-444-2460 FAX:072-444-2465
岸之浦工場	<中間処理（廃酸・廃アルカリ・廃油）・試験研究> 〒596-0016 大阪府岸和田市岸之浦町10番地11	TEL:072-429-2460 FAX:072-439-2465
稲葉事業所	<収集運搬・配車センター> 〒596-0103 大阪府岸和田市稲葉町1706番1	TEL:072-479-2460 FAX:072-479-2465

興徳ホールディングス株式会社
TEL:072-489-2750（代）

株式会社興徳クリーナー
TEL:072-444-0634（代）

株式会社ケーシーエス
TEL:072-443-8723（代）

興徳ホールディングス株式会社
株式会社興徳クリーナー
株式会社ケーシーエス
代表取締役　**片渕 昭人**

技術力を軸とした、良き企業市民として
私たちは「なりたい・ありたい未来」にチャレンジし続けます。

KOTOKU GROUPの中心企業である株式会社興徳クリーナーは、2020年度をもって創立50周年を迎えます。これもひとえに、永年にわたりご愛顧ご支援いただきましたお客様・ご関係者の皆様のご尽力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

さて、企業が将来にわたって持続的に成長するためには、経済的な価値を追求するだけでなく、環境問題、社会課題への取り組みが不可欠です。皆様ご承知の通り、近年、サーキュラーエコノミー、パリ協定やSDGsなど環境問題、社会課題がクローズアップされ、国内外の動きが活発化しています。産業廃棄物業界は、これまで社会経済活動で排出された産業廃棄物の適正処理に応えてきました。しかし近年では、環境負荷を低減する適正処理と資源循環を担う社会インフラとしての役割が期待されています。加えて、自然災害で発生する災害廃棄物の処理など、持続可能な社会づくりの一翼を担うことを期待されています。

当グループは、産業廃棄物の収集運搬・中間処理・リサイクル、一般貨物の運送、お客様の排水処理設備の維持管理・メンテナンスおよび廃棄物管理のシステム化支援などのサービスを提供しています。さらに最適な処理技術や新たな環境技術を創造するための試験研究開発にも力を入れています。また、地域社会からの災害廃棄物処理の要請にお応えできる体制づくりにも取り組んでいます。

世界は少しずつ変わっていきます。その変化は私たちの社会経済活動によって良くも悪くもなります。当グループは、次の50年に向けて新たなスタートラインに立ちました。これまで以上に良い変化を生み出すよう、「過去」から学び、「現在」を見て、「なりたい・ありたい未来」を見据え、経済・環境・社会の諸問題にチャレンジし続けます。

環境・労働安全衛生方針

理念

私たちKOTOKU GROUPは、私たちの環境ビジネスを通じて、より過ごしやすい環境を創造し、次の世代にその環境を残すことが使命であると考えています。そのために、廃棄物の処理、リサイクル、収集運搬、それらに付帯する全ての事業活動および情報提供などのサービスにおいて新たな環境産業を創造し「循環型社会」の形成に貢献することを目指します。また、安全と健康の確保を企業存立の大きな基盤と考え、社員とともに労働安全衛生に係わるリスクの低減を図り、労働災害の防止、健康増進および快適な職場環境の形成のため、環境保全活動と労働安全衛生活動を統合した「複合マネジメントシステム」を構築し、その継続的な改善活動を通じて、社会的責任を真摯に全うすることを目指します。

行動指針

1 環境負荷の軽減・省資源化、有意リスクの低減活動

①私たちは、事業活動によって生じる環境負荷を十分に認識し、扱う廃棄物の管理を徹底することによって、環境汚染の予防に努めます。
②私たちは、資源の有効活用を図るため、扱う廃棄物のリサイクルを推進します。また、そのための研究開発を積極的に行います。
③私たちは、職場での負傷および疾病の予防を図るため、危険源の発掘・評価を行い、有意リスクに対する管理策を実施してリスクの低減を図ります。

3 法的およびその他の要求事項の順守

私たちは、法令順守を会社存立の大きな基盤の一つと考え、環境側面に関連する法令、労働安全衛生関係法令および地域住民などと同意した要求事項ならびに自主管理基準を守ります。

4 教育

私たちは、環境保全活動と労働安全衛生活動を統合させた複合マネジメントシステムについて学び、これを今後の事業活動に生かし、個人の資質の向上に努めます。また、全ての従業員に対し、環境保全や労働安全衛生確保に必要な教育・訓練を実施し、それらの重要性を従業員に周知し、意識の向上に努めます。

5 情報・公開

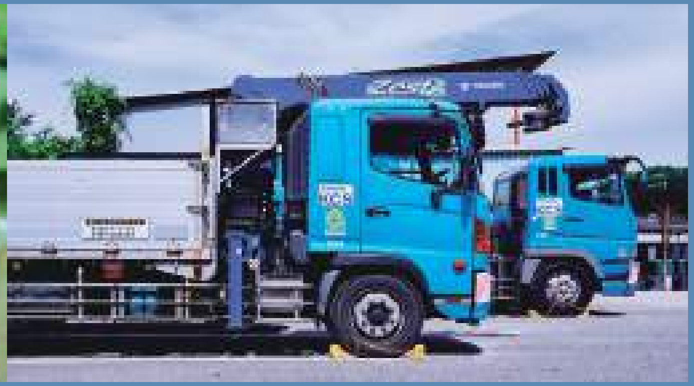
①私たちは、環境保全および労働安全衛生活動に関する情報を求めに応じ公開し、地域住民や社会から事業活動が理解されるよう努めます。
②私たちは、この環境・労働安全衛生方針を文書化し、社外に公開します。

2 環境目標管理、労働安全衛生目標管理

私たちは、環境・労働安全衛生方針に沿った環境目標、労働安全衛生目標を定め、それを達成するための責任・施策・期限を明確にし、以下の項目を重点課題とした実施計画を策定し実行します。また、適切な経営資源を投入し、環境保全、環境保護および労働安全衛生におけるパフォーマンスの効果的な改善を継続的に実施します。

〈1〉事業活動の中から著しい環境側面を特定し、以下の環境目標を設定し、定期的に見直します。
①省エネルギー推進による燃料・電気の年間使用量の低減により低炭素社会の実現に貢献します。
②悪臭の発生抑制、化学物質および廃棄物の漏洩防止などによる環境リスクの低減を図ります。
③環境配慮型製品の購入を増進し、循環型社会の形成ならびに低炭素社会の実現に貢献します。
④生物多様性の保全、ならびに野生生物などの保護推進活動に積極的に参加します。

〈2〉事業活動の中から有意リスクを特定し、以下の労働安全衛生目標を設定し、定期的に見直します。
①通勤、移動、収集運搬における交通事故の撲滅を図ります。
②収集運搬および中間処理における機械操作、廃棄物および化学物質の取扱いミスなどによる事故の撲滅を図ります。
③重機使用時の作業者との接触事故の撲滅を図ります。
④高所作業における墜落・転落事故の撲滅を図ります。
⑤各種感染病対策としてうがい・手洗いを励行し、炎天下での作業における給水・休憩を適切に管理するなど、健康障害の予防に努めます。
⑥ 台風や地震など、緊急時における事故の低減を図ります。



持続可能な開発目標（SDGs）とは

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。KOTOKU GROUPは産業廃棄物の処理とリサイクルを担ってきた点で、持続可能な開発に創業当初より大きな貢献を果たしていると言えます。社会のためになる事業を行っているという事実に誇りを持ち、これからも自信を持ってSDGsに取り組んでいきます。

KOTOKU GROUPが取り組むSDGs

KOTOKU GROUPは、将来の持続可能な社会づくりのために17ある目標のうち、12もの目標に取り組んでいます。
社員や取引先、また地域の皆様とともに、これからも事業を通じて地球環境に向き合っていきます。

事業で解決するSDGs

- ■産業廃棄物処理（中間処理・収集運搬）
- ■再資源化（リサイクル）
- ■分析・処理技術
- ■排水処理設備清掃・メンテナンス
- ■おかたづけ

など

プロジェクトで解決するSDGs

- ■災害廃棄物処理
- ■地域清掃活動
- ■子ども安全パトロール
- ■インターンシップ実習受入
- ■JUDOs

など

社内の取り組みで解決するSDGs

- ■社内情報化（IT活用）
- ■資格取得奨励活動
- ■健康相談窓口
- ■緊急訓練活動
- ■ハイブリッドカー

など

2018年台風21号発生。大量の災害廃棄物をきれいに。

Clean up the piled disaster waste of typhoon 21st

2018年9月4日に近畿圏を襲った台風21号は、近年経験したことがない甚大な被害をもたらしました。暴風の影響で関西国際空港連絡橋へのタンカー衝突や、電柱・植林・建築物等の倒壊、瓦などが飛散した他、ライフラインである電力・水道・通信が滞る地域も発生し、地域住民もかなり混乱していました。
当社においても自社工場ワイドシャッター全壊、自家用車のガラスが割れるなど、甚大な被害が生じました。
発生日より日を追うにつれ、市内各所で山積みとなった災害廃棄物が発生し始めた頃、これらを迅速に復旧・処理すべく大阪府岸和田市より委託を受け、株式会社興徳クリーナーを含めた２社の共同企業体により、岸和田市災害廃棄物処理業務を開始いたしました。
当時、あらゆる面で資材・人手不足ではありましたが、日頃よりお取引させていただいている協力企業様に助成・応援を要請しながら、収集運搬車両、重機、作業員を確保し、日々市内に数百も点在する山積みの災害廃棄物仮設保管場所を一つひとつ確認。状況を把握し、計画を立ててエリア別回収をし、仮置場にて選別作業を行い、数ヶ月かけ処理場へ搬出いたしました。

株式会社興徳クリーナー
経営企画室 室長
上出　広幸

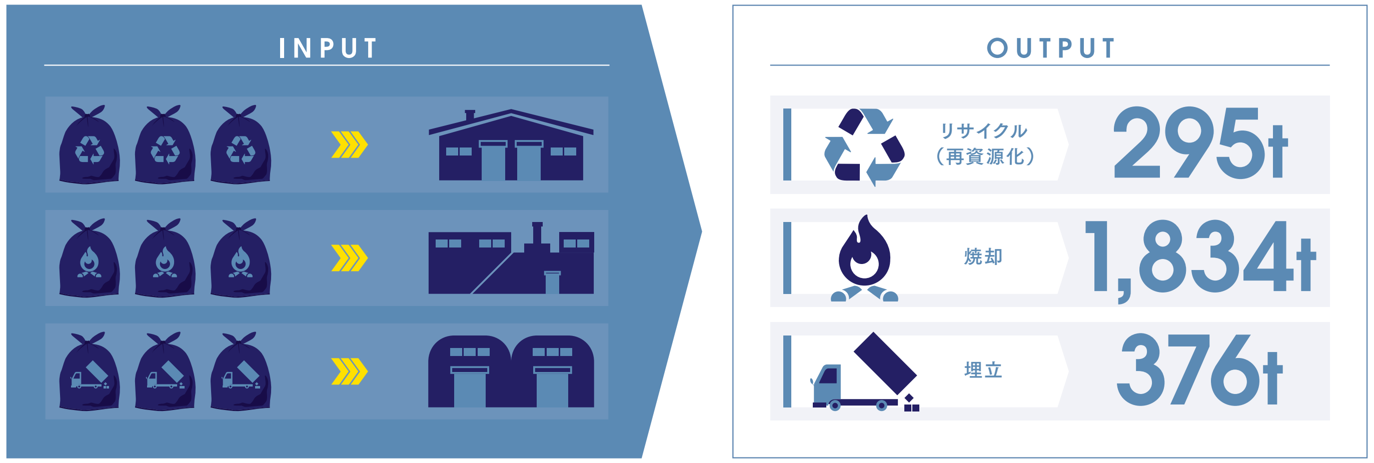
本当に被害が甚大で、初めはどこから手をつければよいかの見当もつきませんでした。
協力企業様と一緒に、綿密に計画を立てて一つひとつ対応し、最終仮置場の復旧作業を終えた時の達成感・安堵感・感動は今も心に残っています。
これらの経験から、私たちは社会的インフラの一旦を担っていることの自負を改めて胸に刻み、様々な課題に立ち向かう精神を得ました。今後は官民連携で緊急事態に備え、事前に環境影響を最小とするために必要な体制・仕組みづくりに尽力したいと考えています。

災害廃棄物も再資源化

災害廃棄物の総量は「2,505t」でした。災害廃棄物には様々な種類の廃棄物が混ざっています。仮置場では廃棄物をできるかぎり分別し、選別保管しました。その結果、「295t」はリサイクル（再資源化）しました。また、焼却処理（1,834t）の多くは岸和田市貝塚市クリーンセンターで行いました。同センターでは焼却によって生じるエネルギーを蒸気と電気に変え利用されます。災害廃棄物は熱エネルギーにも利用しました。

※1t未満は切捨

処理実績　台風21号対応



OUTPUT	
リサイクル（再資源化）	295t
焼却	1,834t
埋立	376t

TOTAL　受入量　総合計 2,505t

※1t未満は切捨

17 パートナーシップで目標を達成しよう

一人でできることには限界がありますが、企業、自治体、住民などが協力することで、できるようになることがあります。それぞれが自分の強みを活かせば、新しいアイデアが生まれます。異業種とも連携し、持続可能な社会づくりに貢献できる事業を展開していきたいと思います。

株式会社興徳クリーナー
専務取締役 営業部長 片渕 則人

12 つくる責任 つかう責任

お客様の廃棄物管理の"困った"を解決するため日々奮闘しています。適正処理やリサイクルはもちろん、製品ライフサイクルの視点で環境負荷の低減につながる提案もします。企業の生産活動と廃棄物管理は切り離せない関係です。「物を大切に」は当社の社是でもあります。

株式会社興徳クリーナー
営業部営業一課 係長 川﨑 大佑

CSR
COMMITTEE

SDGsの達成に向け、CSR委員会を発足しました。

「環境」「経済」「社会」の3つの側面におけるKOTOKU GROUPの企業姿勢とは？持続可能な社会の実現に向け、私たちが取り組んでいること・取り組みたいことは？部署、役職の垣根を越え、日々活発に意見交換を行っています。

6 安全な水とトイレをみんなに

工場現場では、お客様の廃液を受け入れ、有害な化学物質が公共用水域に出ないよう、適正処理を行っています。現場では当たり前のように処理を行っていますが、これが私たちの生活に欠かせない「水」の管理につながっていると思うと、日々の仕事に誇りを感じます。

株式会社興徳クリーナー
業務部業務課 芝 章吾

3 すべての人に健康と福祉を

"しっかり働き、しっかり休む"。ワークライフバランスの実現が、運転手の健康管理につながります。健康管理は運転手だけではないですね。全社員共通です。以前、社内で「健康と介護に関する アンケート調査」がありました。介護離職の未然防止、重要な課題です。

株式会社興徳クリーナー
総務部 森 裕岐代

当社の試験研究について

研究テーマが幅広い、KOTOKU GROUPだからこその技術

佐野：本日はよろしくお願いします。早速ですが、お二人がされている研究内容について教えてください。

湯川：私たちは産業廃棄物から有用資源を回収しリサイクルする研究を行っています。通常、中間処理で発生する汚泥は最終処分場で処分していますが、最終処分場の容量が枯渇してきており、有用資源を回収することで汚泥を減量化し、処分場の延命化に寄与できます。近年はフッ素に力を入れており、処理の過程で発生するフッ化カルシウムを高純度化する研究を行っています。またフッ化カルシウムの市場需要が高まっており、研究の必要性を感じています。

世古：廃棄物の中には不純物が混在しており、その中からフッ素成分だけを抽出していきます。不純物を処理して分離していくプロセスの開発をしているというわけです。不純物がたくさん入っているとリサイクルに回せないんです。フッ素に関わらず、他の有用資源の場合でも同じような考え方でプロセス開発をしていきます。

佐野：では、研究による今後の展望を教えてください。

世古：色々な組成に対応できるようにしていきます。いずれは様々な組成、性状の原料を使用できるよう技術を構築していきます。

佐野：直近ではどのような取り組みが他に挙げられますか？

湯川：リサイクル物は事前に予定していた事業者以外でも、使える可能性があります。「サンプルワーク」といって、成果物を他の事業者に提供し、実際に面談しています。

世古：業務改善の観点から、プラントにある既存設備を有効活用する取り組みも行っています。現在、ラボ試験段階が終わったところなので、これから運用できるようにスケールアップしていきます。

佐野：わかりました。それではお二人の今後の目標をお聞かせください。

世古：ラボスケールを脱して実際に事業化するということは本当に難しいです。それを一つでもクリアして、自分の研究を新しい事業につなげたいと思います。

湯川：それを実現するためには、社会的なニーズを捉えることが重要です。私たちの研究は廃棄物を利用する以上、原料の管理と製品となる回収物の管理の両方が必要です。それぞれの事情を理解するためにも、なるべく社外に出て情報収集をするようにしています。

佐野：KOTOKU GROUPでしか感じることのできないやりがいはどういったものでしょうか？

湯川：研究するテーマの幅が広いことだと思います。廃棄物処理とリサイクルの両面に対して、ラボ試験から事業化までが一つのテーマなので、やることも多いです。廃棄物というものを一括りにすると単純ですが、実際は廃液の種類だけでも山ほどあります。これだけ色々な研究対象があることは大変な一方で面白みがあり、やりがいを感じます。

世古：同感です。研究をするだけなら大学でもできますが、実際に廃棄物が入ってくる現場でどのような課題があるかを感じながら実験や研究ができるということは、大きなやりがいだと思います。

インタビューを終えて

研究の分野が広域におよぶKOTOKU GROUPの研究だからこそ、感じることができるやりがいがあるんですね。研究の努力が実を結び、社会により良い影響をもたらせるよう、私も成長し貢献していきたいです。

業務部業務課研究開発 **佐野 智美**

業務部業務課研究開発 主任
湯川 正太郎

業務部業務課研究開発
世古 遼

循環経済の考え方と
KOTOKU GROUPのビジネスモデル

循環経済（サーキュラーエコノミー）とは、従来の資源を消費して廃棄するという一方の経済に対して、消費された資源を回収し再生・再利用し続けることで、資源制約からデカップリングされた経済成長を実現する新たな経済モデルのことを言います。資源の効率的な利用により最大限の付加価値を見出す、経済政策としての資源循環です。私たちKOTOKU GROUPはその実現のため、企業活動により発生した廃棄物の物質を構成する元素の単位に立ち返り、可能な限り何度でも繰り返し使用できるリサイクルの創造を目指し、日々努力をしております。

50期 産業廃棄物処理実績

（2018/9/1～2019/8/31）

2018年9月1日から2019年8月31日まで※のデータを掲載しています。
お客様の多種多様なニーズに応えながら、あらゆる廃棄物の運搬から中間処理、再資源化までを担っています。
※最新のデータはホームページにて公開していますので、そちらをご確認ください。
※1t未満切捨て

収集運搬実績

総合計 127,512t

産業廃棄物	特別管理産業廃棄物	その他（有機物、廃棄物対象外）
87,587t	21,933t	17,992t

INPUT

中間処理実績

総合計 62,272t

産業廃棄物 44,165t

- 汚泥 30,894t
- 廃酸 4,283t
- 廃油 519t
- 廃アルカリ 8,469t

特別管理産業廃棄物 18,107t

- 特管廃酸（pH2.0以下の廃酸） 10,622t
- 特管廃アルカリ（pH12.5以上の廃アルカリ） 7,485t

OUTPUT

リサイクル（再資源化）

総合計 22,441t

- 有価物売却 397t
- 資材化 21,459t
- 金属回収など 187t
- 肥料化 387t
- セメント原料化 11t

管理型埋立

総合計 8,168t

OBU FACTORY

尾生工場

尾生工場は、KOTOKU GROUPの中心企業である
株式会社興徳クリーナーの創業の地であり、
地道に財務基盤を築いてきた重要な拠点であります。

監視内容

廃棄物性の監視

蛍光X線分析装置を2007年2月に導入し、汚泥中の有害物質(重金属など)の含有状況を把握し、適正処分できるよう見積前、中間処理前、中間処理後に必ず分析確認することを義務付けています。これらのデータを蓄積し分析することで処理後物の物性管理体制を整え、お客様にご安心いただけるようにしています。

公共用水域への監視

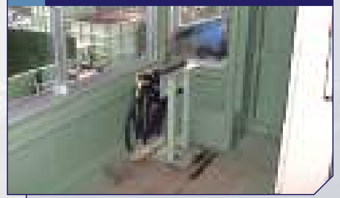
公共用水域への放流は行わないクロージングシステムにて運用しておりますが、工場内から排出される雑排水は、バイオカルテットを介し砂濾過塔、活性炭塔を経て適正処理し、最終放流槽にて水質を確認した後、公共用水域へ放流しています。また、月1回の頻度で自社分析し、分析結果を保管しています。

臭気の監視

工場に搬入される汚泥は、搬入前にサンプルにて臭気の発生状況を確認し、搬入可能物か判断しておりますが、独特の汚泥臭を懸念し、2002年9月に消臭設備を設けました。場内や養生ヤード内で臭気を感じたときは消臭剤の噴霧を行い臭気抑制に努めています。また、1日3回工場周辺地域4箇所の臭気測定を実施しています。

DISPOSAL 脱水・固化

1 固化施設操作室



2 脱水機(フィルタープレス)

3 バイオカルテット

4 排水処理設備

5 工場正面

6 脱水汚泥 投込槽

7 固化専用クレーン

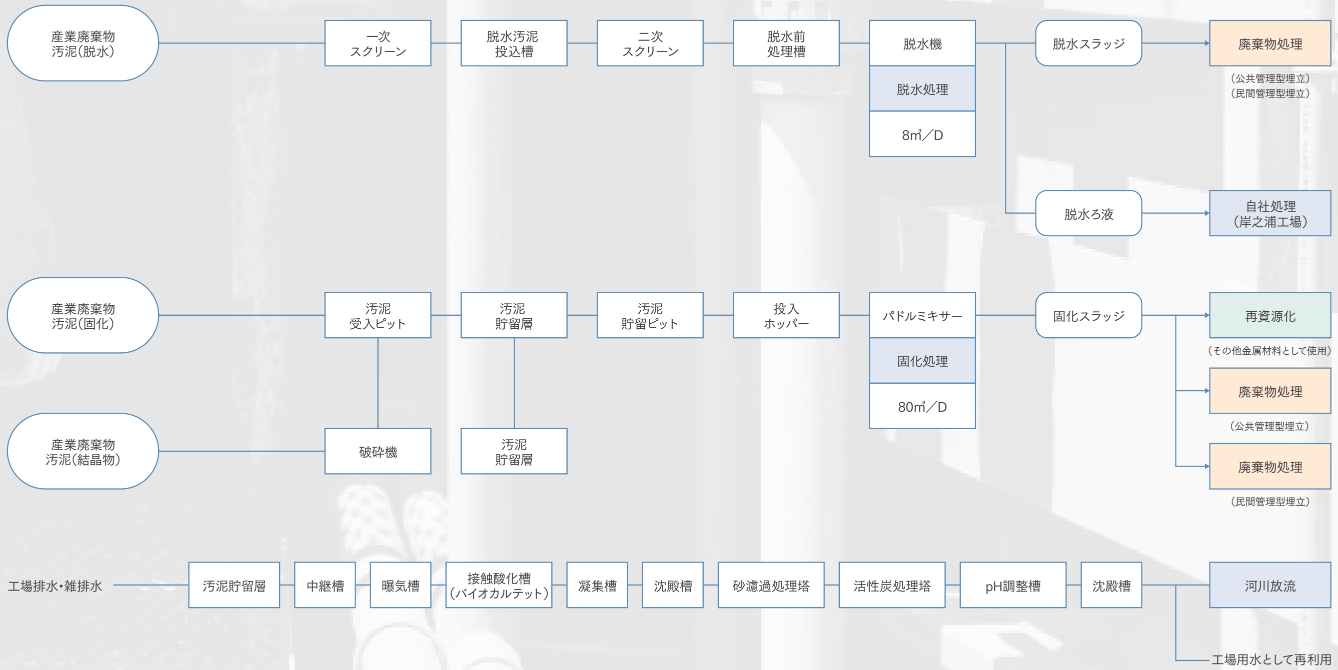
8 パドルミキサー

LICENCE SUMMARY

許可番号	大阪府/第02720003317号
設置場所	大阪府岸和田市尾生町1649番1
施設処理能力	脱水施設8㎥/日、固化施設80㎥/日
事業区分 品目	中間処理 産業廃棄物/汚泥
設置面積	1,590㎡
受入保管施設	259㎡

産業廃棄物処分業許可証

DISPOSAL FLOW



KISHINOURA FACTORY

岸之浦工場

岸之浦工場は、KOTOKU GROUPが目指す元素レベルのリサイクルを具現化する重要な工場となっています。

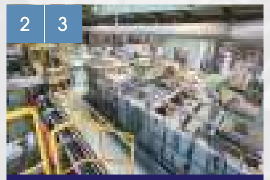
許可番号	産業廃棄物/第02720003317号	特別管理産業廃棄物/第02770003317号			
取り扱い品目	廃油、廃酸、廃アルカリ (石綿含有産業廃棄物を除く) 以上3種類	廃酸(水素イオン濃度指数2.0以下のもの、カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、砒素又はその化合物を含むことのみにより特定有害産業廃棄物となるものに限る) 廃アルカリ(水素イオン濃度指数12.5以上のもの、カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、砒素又はその化合物を含むことのみにより特定有害産業廃棄物となるものに限る)以上2種類			
処理能力	[油水分離処理]廃油9㎥/日 [中和処理]廃酸40㎥/日、廃アルカリ40㎥/日 [減圧濃縮処理]廃油、廃酸、廃アルカリ36㎥/日	[中和・無害化処理]廃酸 45㎥/日、廃アルカリ30㎥/日 [減圧濃縮処理](特定有害産業廃棄物除く)廃酸、廃アルカリ 36㎥/日			
設置場所	大阪府岸和田市岸之浦町10番地11	設置面積	6,815㎡	受入保管施設	324㎡
リサイクル先	セメント原料化、冶金用融剤、セメント用燃料化、焼却炉冷却水として再利用、 Cu/Ni/その他原料化、コンポスト原料化				

産業廃棄物
処分業許可証

特別管理産業廃棄物
処分業許可証

DISPOSAL 中和処理(中和、中和・無害化)減圧濃縮処理

1 一次沈殿槽・二次沈殿槽・三次沈殿槽



2 3 連続処理槽・三次処理反応槽

4 スクラバー

活性汚泥生物処理槽

ブロワー室

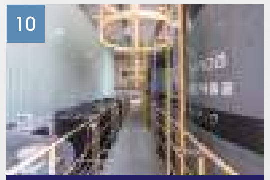
5 バッチ処理槽Ⅰ〜Ⅲ

6 フィルタープレス

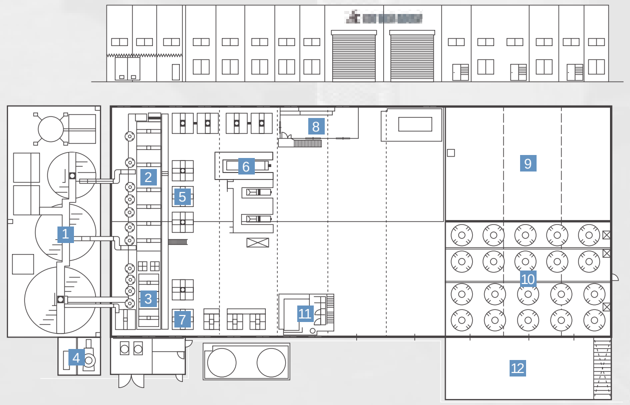
7 バッチ処理槽Ⅳ〜Ⅷ

8 集中監視室

9 廃棄物処理物 汚泥保管場所



10 廃棄物受入タンク・薬品保管タンク



11 減圧濃縮装置

12 廃棄物受入スペース

分析内容

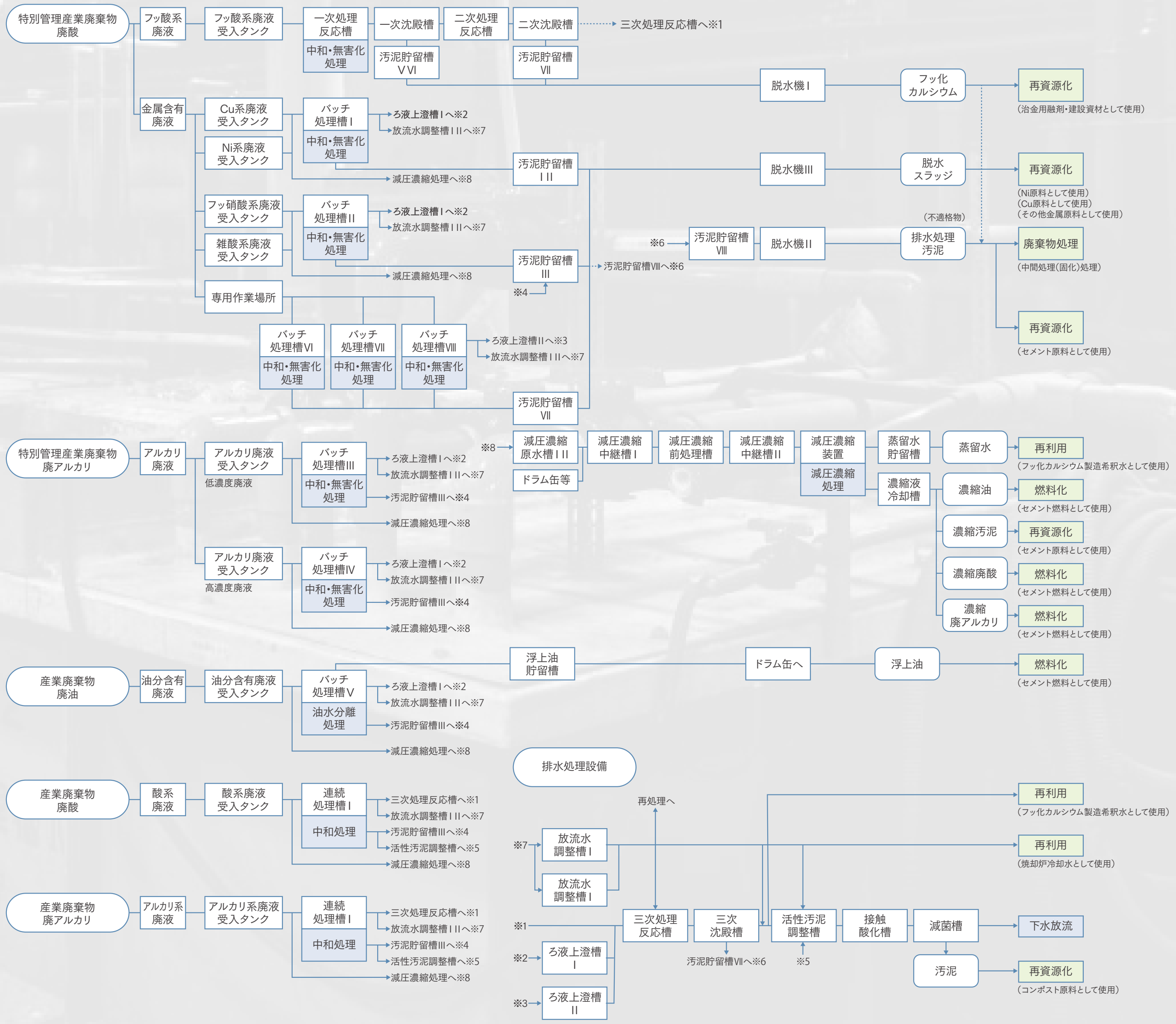
水酸化銅

ICP発光分光分析装置

フッ化カルシウム

私たちが理想とする真のリサイクルとは、「廃棄物の構成単位である元素にまで遡って抽出し、その元素を社会に還元すること」と考えています。また、半導体や液晶など今日の最先端技術を支える資源の一部は、既に枯渇状態を迎えつつあり、産出国による輸出制限などの理由による供給不安が顕在化し、今後も資源価格の高騰は続くものと予測されます。私たちKOTOKU GROUPは、その理想に一歩でも近づくべく、岸之浦工場に分析室を設け、ICP発光分光分析装置等高度の分析ができる機材を導入することで、廃棄物の成分を明確にし、分析結果に応じた適正処理および再資源化処理を行っています。

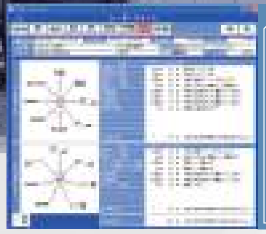
株式会社興徳クリーナー 岸之浦工場 全体処理工程図



INABA OFFICE

稲葉事業所

稲葉事業所は、KOTOKU GROUPの収集運搬を担う車両基地で、
お客様のニーズにお応えできる様々な車両を保有しております。



デジタル
タコグラフ
での管理

安全運転・省エネ運転の監視

デジタルタコグラフを導入し、制限速度の超過・急加速・急発進・急停車などを確認し、最終点呼時に運行管理者がドライバーを指導しています。また、ムリ・ムラ・ムダな運転を行っていないかも確認し、CO_2排出抑制にも取り組んでいます。

労働安全衛生活動の推進

全従業員が無災害を目指して労働安全衛生に取り組んでいます。作業前に現場で想定できる危険に対して安全対策、不安全行動の排除、注意喚起を行うことで、事故防止に努めています。

緊急事態対応訓練・特別教育の実施

緊急事態対応手順書を定め、対応訓練を年1回以上実施し、有効な手順かどうかを確認しています。

清掃作業等

清掃作業

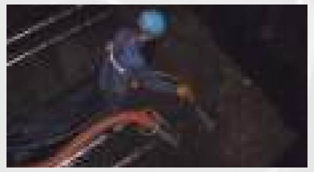
排水処理設備、製造ライン、廃酸、廃アルカリ槽、重油タンク、塗装ブースなどの清掃を行います。

洗管作業

高圧洗浄車、高圧洗浄機、曲管フレキシブルホースを用意して、様々な配管に対応しています。

活性炭入替作業

「活性炭レシーバー」で使用済み活性炭の吸収作業とフレコンバッグ詰めを並行して実施、作業コストを削減します。また、活性炭の販売も行っています。



浚渫工事

側溝や土管に堆積した土砂などを除去し、排水を流れやすくするために行う工事のことです。普段、目の届かない地中埋設配管などのクリーニングを行います。

デジタルタコグラフ

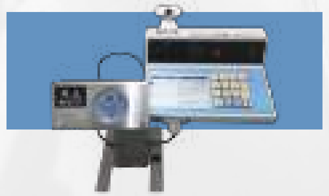
デジタルタコグラフの成績をドライバー同士で情報共有し、省エネ、労働安全衛生の向上に努めています。

デジタコの成績

期日	46期	47期	48期	49期	50期
総合評価平均点	98.2	98.5	98.8	98.7	98.4

アルコールチェッカー

運行部では飲酒運転撲滅宣言をしています。毎日点呼時に飲酒チェックを実施し、日頃からドライバー全員の健康管理を行い、安全運転に努めています。



ドライブレコーダーの導入

収集運搬車両全車にドライブレコーダーを導入。万一のエビデンスとしての役割だけでなく、運行管理者が各ドライバーの運転状況を把握し、事故発生抑制の指導に役立てています。

安全性優良
事業所認定証

PCB廃棄物 専用運搬容器

PCB廃棄物専用運搬容器は、インナートレイを2台収納できる密閉式構造となっており、材質は全てSUS304が使用されています。また、運搬中のPCB廃棄物の漏洩・拡散を防ぐため、要求される十分な強度計算を基に設計され、水張り試験、転倒水漏れ試験(気密試験)、つり上げ検査、持ち上げ検査等に合格したPCB廃棄物専用運搬容器を用い、安全かつ適切に運搬を行います。

おかたづけ事業

Relief 泉南店

おかたづけ事業のフランチャイズ店として、遺品整理やお部屋のおかたづけを承っております。ご相談ください。
ご連絡先:072-479-6333

代表されるPCB廃棄物

高圧トランス

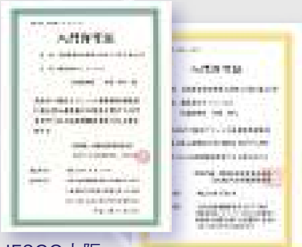
トランス内はPCB油とトリクロロベンゼンの混合液(重量比3:2)で満たされています。例えば、50KVAの場合で約85KgのPCBが入っています。

高圧コンデンサ

コンデンサ内はPCB油で満たされています。例えば、100KVAの場合で約40KgのPCBが入っています。

安定器

蛍光灯の安定器の中にも、低圧コンデンサが使われています。コンデンサ内の巻紙のすき間に少量のPCB油が含浸されています。



JESCO大阪
JESCO北九州
入門許可証

保有車両の概要

※全ての車両は、使用車種規制(NOx・PM)適合車です。

ローリー車 (8t/10t/12t)

廃酸、廃アルカリなどを主に収集運搬する車両です。廃棄物の性状に合わせ、FRPライニング車、テフロンライニング車、ステンレスタンク車を選択することが可能です。

バキューム車 (10t)

バキューム車は、真空ポンプでタンク内を負圧にし吸引します。吸引物が真空ポンプを通過しないため、粒子状の異物が混入した廃棄物の収集運搬に用います。

ブロワー車 (4t/8t/10t)

ブロワー車は、大風量のブロワーでタンク内を負圧にしホース先から吸引します。液体物だけでなく泥状物や粒子状の固形物の吸引が可能です。

ダンプ車 (10t)

スタンダードなダンプ仕様に加え、水密性箱形ダンプ仕様もご用意しています。また、少量の廃棄物でも対応できるようダンプ式コンテナ車両もご用意しています。

ウイング車 (12t) / 平ボディ車 (1t/3t)

主にドラム缶やフレコンバッグなど容器に入れられた廃棄物や一般貨物を運搬する車両です。12t車では一度に約60本のドラム缶を運搬することが可能です。

ユニック車 (3t/8t)

フレキシブルコンテナなどを小型クレーンでつり上げて積載する車両です。小型移動式クレーン運転技能講習修了者が操作を行います。

パッカー車 (4t)

容積が大きく、かさばる廃プラスチック類などを圧縮することにより、収集運搬の回数を減らし、運搬コスト低減を可能にする収集運搬車両です。

コンテナ車 (3t/4t/6t/8t)

お取引先様に専用コンテナを設置し、脱水汚泥、有機汚泥、廃プラスチック類、木くず、紙くずなどの廃棄物を収集運搬する車両です。用途に合わせ、4㎥・6㎥・10㎥コンテナや、密閉式コンテナをご用意しています。

LINEUP

優良産廃処理業者認定

優良産廃処理業者認定とは、通常の許可基準よりも厳しい基準をクリアした優良な産廃処理業者を都道府県・政令市が審査して認定する制度です。①実績と遵法性②事業の透明性③環境配慮の取り組み④電子マニフェストの加入⑤財務体質の健全性を情報公開し、それらが基準を満たすものかなど、通常の許可取得申請に加え、厳しい審査を経て認証を受けることができます。KOTOKU GROUPでは、株式会社興徳クリーナー、株式会社ケーシーエスの両社で、認定を取得しております。

KOTOKU GROUPの取得許可一覧

許可行政
優良認定適合

		産業廃棄物			特別管理産業廃棄物		
許可地域	許可行政	興徳クリーナー	ケーシーエス	ユウシン	興徳クリーナー	ケーシーエス	ユウシン
処分業							
近畿地方	大阪府	02720003317㊝			02770003317㊝		
収集運搬							
近畿地方	大阪府	02700003317	02700004657㊝	02700201074		02750004657㊝	02750201074
	和歌山県	03000003317	03000004657㊝	03000201074		03050004657㊝	03050201074
	兵庫県		02803004657㊝	02803201074		02853004657㊝	
	滋賀県		02501004657㊝	02501201074		02551004657㊝	
	京都府		02601004657㊝	02600201074		02651004657㊝	
	奈良県	02900003317	02900004657㊝	02900201074		02950004657㊝	
東北地方	福島県		00707004657㊝			00757004657㊝	
関東地方	茨城県		00801004657㊝			00851004657㊝	
	埼玉県		01100004657				
	千葉県		01200004657			01250004657	
	東京都		1300004657			1350004657	
	神奈川県		01400004657㊝			01450004657㊝	
中部地方	富山県		01605004657㊝			01655004657㊝	
	石川県		01702004657㊝			01752004657㊝	
	福井県		01807004657㊝			01857004657㊝	
	岐阜県		02100004657㊝			02150004657㊝	
	静岡県		02201004657			02251004657	
	愛知県		02300004657㊝	02300201074		02350004657㊝	
	三重県		02400004657㊝	02400201074		02450004657㊝	
中国地方	鳥取県		03101004657			03151004657	
	島根県		3200004657㊝			3250004657	
	岡山県		03309004657㊝			03359004657㊝	
	広島県		03400004657㊝			03450004657㊝	
	山口県		03500004657㊝			03550004657㊝	
四国地方	徳島県		3600004657㊝			3650004657㊝	
	香川県		03709004657㊝			03759004657㊝	
九州地方	福岡県		04000004657㊝			04050004657㊝	

優良産廃処理業者の情報はコチラ
産廃情報ネット
http://www.sanpainet.or.jp　産廃情報ネット　検索

社内管理体制

インターネットによる情報公開

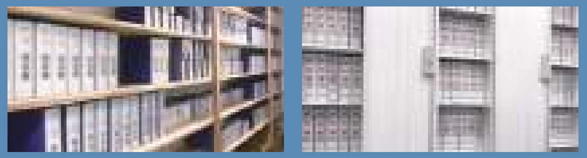
ホームページや産廃情報ネットにて財務情報や許可取得情報を公開し、企業の透明化を図っています。お取引先様がID、パスワードを取得されることにより、ホームページからお取引先様の産業廃棄物の処理状況をご確認いただくことができます。

水質基準値の順守

岸之浦工場の脱水機やスクラバーからの排水は下水道に放流されます。下水道放流基準値順守のための設備投資や機器メンテナンスを積極的に行っています。

自社オリジナル電子管理システム

独自開発した産業廃棄物管理システム「産廃三昧」※で、品目、収集運搬や処分などの廃棄物情報データを一括管理し、廃棄物処理法に基づく「帳簿」にも対応しています。また、同システムで売上請求書作成や売掛管理なども行っており、社内の各種管理をシステム化しています。お取引先様には、本データをもとに、当グループホームページでマニフェストの「交付番号」「作業日」「品目」「重量」などの情報を提供しています。(ID・パスワードの登録が必要)



委託契約書、紙マニフェストは5年間保管しています。

E-GADGET
http://www.e-gadget.co.jp

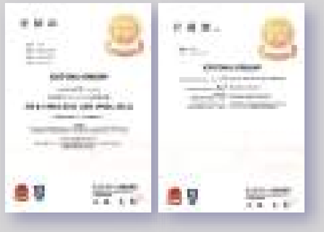
※「産廃三昧」は、産業資源循環の支援システムで、他社でもご利用いただいています。本システムに関する問い合わせや導入検討は、当グループ会社の「株式会社イー・ガジェット」まで

環境保全 労働安全衛生活動

IMSマネジメントシステム

ISO14001とOHSAS18001を統合したIMS(Integrated Management System)を構築し、それぞれの目標を達成すべく計画(Plan)を立て、実行(Do)し、内部監査(Check)を行い、マネジメントレビュー(Action)を行うことにより、活動のスパイラルアップを図っています。

ISO14001認証



ISO14001

登録日(2003年4月9日)

環境マネジメントのレベルを継続的に改善していくPDCAを実行する。

CO₂排出削減

終業時に工場全設備の電源を切り、ガソリン車をハイブリッド車に入れ替え(ハイブリッド車率65%(2019年10月現在))、急発進、急加速を禁止し、デジタルタコグラフの運転成績を活用したエコ運転意識の向上を図るなど、燃料や電気エネルギー使用の効率化によりCO_2の排出削減を図っています。

飛散・漏洩対策

運行部では、作業時のガス発生に備えてガス測定器を、車両には廃液などの漏洩に備え、吸着マットを含む緊急対応セットを積載しています。また、岸之浦工場では場外への廃液の漏洩を遮断するため、pH監視装置を設置して緊急時に備えています。

ガス測定器

車両の緊急時対応キット

pH監視装置

悪臭対策

工場に搬入される汚泥は、搬入前にサンプルにて臭気の発生状況を確認し、搬入可能物かどうか判断しておりますが、独特の汚泥臭による苦情を懸念し、消臭設備を設けました。場内や養生ヤード内で臭気を感じたときは消臭剤の噴霧を行い臭気抑制に努めています。また、1日に3回、工場周辺地域の臭気測定を実施し、苦情が起こらないよう十分な注意を払っています。

悪臭の発生件数

期日	46期	47期	48期	49期	50期
尾生(件)	0	1	1	0	0
岸之浦(件)	0	0	0	0	0
合計(件)	0	1	1	0	0

OHSAS18001認証

OHSAS18001

登録日(2010年4月13日)

労働災害リスクを低減し、従業員や社会からの信頼獲得、組織の価値向上の実現を目指す。

労災事故対策

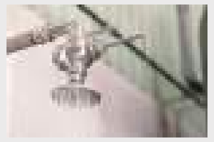
発生した各労災事故の原因を徹底して分析し、危険源の抽出とリスクアセスメントを明確にした上、的確な是正処置を講じます。また、ヒヤリ・ハット分析を行い、リスク発生度の高い状況や条件などについて関係者への周知を図ります。

労災事故件数(休業)

期日	46期	47期	48期	49期	50期
尾生(件)	0	0	0	0	0
岸之浦(件)	0	0	0	0	0
運行部/総務稲葉(件)	2	1	1	2	2
営業一課(件)	0	1	0	0	0
合計(件)	2	2	1	2	2

安全帯装着設備の設置

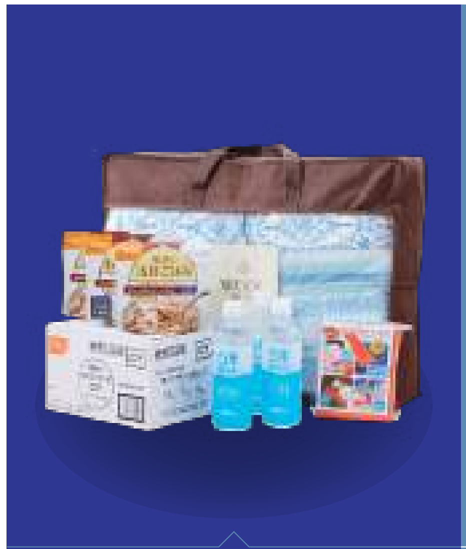
各工場の荷下ろし場に安全帯装着設備を設置。車両上部で作業を行う場合は、安全帯の装着を徹底しています。



緊急時のシャワー設備

誤って薬品や廃棄物を浴びても素早く洗い流せるよう、各箇所に緊急時専用のシャワーを備え付けています。

BCP(事業継続計画)



非常食、飲料水、防寒具、軍手、ラジオなど

発電機

非常時用携帯電話

事業継続計画(Business Continuity Plan)とは、企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。当社では、自然災害が起こった場合、それぞれの災害に応じた対応マニュアルを作成して社員の安全を確保し、できるだけ早くお客様からのご依頼にお応えできるような体制づくりに努力しています。

台風 TYPHOON

稲葉事業所
台風接近情報を事前に詳しく入手し、台風の来る方向に向かう車両については注意を喚起し、状況に応じて引き取り・搬入予定先に連絡をして延期していただく。

岸之浦工場
台風接近情報を詳しく入手し、交通事情悪化等に伴う処理剤入手困難事態に備え、早めに在庫量を増やす。

尾生工場
台風接近情報を詳しく入手し、交通事情悪化等に伴う処理剤入手困難事態に備え早めに在庫量を増やす。

全社
帰宅困難時に備え、寝具、食料、飲料水、洗面具等を用意する。

地震 EARTHQUAKE

稲葉事業所
ドライバーの安否確認、居場所、被害状況の確認を行う。

岸之浦工場
振動による容器類の落下に備え、常時、積上げ高さを制限しておく。

尾生工場
振動による容器類の落下に備え、常時、積上げ高さを制限しておく。

全社
帰宅困難時に備え、寝具、食料、飲料水、洗面具などを用意する。

津波 TSUNAMI

岸之浦工場
津波警報発令後、速やかに徒歩にて岸和田・貝塚クリーンセンター、または岸和田市立保健センターへ避難する。

停電 POWER OUTAGE

稲葉事業所
長時間停電時、発電機を稼働させ照明、暖房用電源として使用する。固定電話不通時、固定電話からの通話を非常時用携帯電話に転送されるサービスに入っておく。

大雪 HEAVY SNOW

稲葉事業所
大雪情報を事前に詳しく入手し、大雪になる地域に向かう車両については冬用タイヤの着用等注意を喚起し、状況に応じて引取り・搬入予定先に連絡して延期していただく。

岸之浦工場
大雪情報を事前に詳しく入手し、交通事情悪化等に伴う処理剤入手困難事態に備え、早めに在庫量を増やす。

尾生工場
大雪情報を事前に詳しく入手し、交通事情悪化等に伴う処理剤入手困難事態に備え、早めに在庫量を増やす。

全社
帰宅困難時に備え、寝具、食料、飲料水、洗面具などを用意する。

火災 FIRE

稲葉事業所
事務所、各車両に消火器を配備する。

岸之浦工場
事務所、工場内に消火器を配備する。点検、防火訓練を実施する。

尾生工場
事務所、工場内に消火器を配備する。

全社
定期的に防火訓練を実施する。

※本社は全社に含む。

部門別 業務改善に関する取り組み

営業部

待ち時間の削減で、時間の有効活用

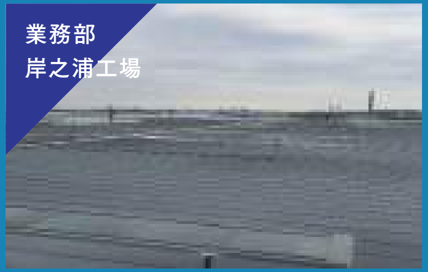
営業部の課題は「お客様からの要望や問い合わせに対し、いかに早く対応するか」です。質の高い情報や解決策の提案を心がけています。営業担当者全員にノートパソコンとスマートフォンを渡し、外出先でも受け答えできる体制を整え、お客様の待ち時間の削減に取り組んでいます。また、オリジナル廃棄物管理ソフトでお客様のデータを管理し、スムーズな対応に加え、廃棄物の分別の工夫や処理コストの低減が図れる提案を行うようにしています。こういったお客様への業務改善は、営業担当者の残業時間の削減にも効果がありワークライフバランス、スキルアップセミナーへの参加など、時間の有効活用にも効果が出ています。レスポンスの良い営業部を目指し業務改善を続けます。

運行部

安全は全てに優先する

運行部は安全第一を最優先に日々運行業務に取り組んでおります。安全運行の取り組みとして全車両にデジタルタコグラフ、ドライブレコーダーを備え付け安全運行に努めています。また、新たな安全運行の取り組みとして、運行部のドライバー全員にタブレット端末を支給し、安全に関する情報共有、道路状況や運行状況をリアルタイムで把握し、運行管理業務でのデータ管理の向上を目指しています。また、社内教育として定期的に安全教育と健康と体調管理について教育、個人面談を実施しています。

私たち運行部は【安全第一で笑顔で家に帰ろう】をモットーにこれからも頑張っていきます。


業務部
岸之浦工場

屋根散水で職場環境を快適に

業務部では、様々な職場環境改善に取り組んでいます。その中の1つとして、岸之浦工場の屋根散水システムを紹介します。屋根裏スペースがない広い工場では、猛暑日には40℃を超える日も少なくありません。そのような環境での作業は体調不良などを引き起こすという声があがりました。そこで室内の冷却効果を期待できる屋根散水システムを導入しました。これは、空調設備を使用するのに比べかなり少ない電力で屋根の上に工水を散水するシステムで、コストやCO_2排出を抑えることにも貢献でき、工場内の温度を下げることにも成功しました。その結果、作業員の職場環境が改善され安全性と作業効率も高めることができました。

安全への取り組み

緊急事態対応訓練の実施

著しい環境側面の1つである廃棄物・化学物質の漏洩に対し年2回の緊急事態対応訓練を実施しています。

AED講習会の実施

全社員が受けるAED講習会を毎年実施し、安全への意識を高めています。

資格一覧

資格名	取得者数(2017.8)	取得者数(2018.8)	取得者数(2019.8)	資格名	取得者数(2017.8)	取得者数(2018.8)	取得者数(2019.8)
環境計量士	1	1	1	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習修了	37	37	37
公害防止管理者　水質1種	4	4	4	運行管理者	18	18	17
社会保険労務士	1	1	1	大型自動車運転第一種免許証取得者	67	68	67
特別管理産業廃棄物処理業収集運搬過程修了	3	3	4	大型自動車運転第二種免許証取得者	9	10	9
特別管理産業廃棄物処理業処分過程修了	3	3	4	フォークリフト運転技能講習修了	74	79	75
PCB廃棄物の収集運搬作業従事者講習修了	18	22	23	玉掛け技能講習修了	38	46	42
特別管理産業廃棄物管理責任者	6	6	6	小型移動式クレーン運転技能講習修了	29	30	30
廃棄物管理士	90	94	96	車両系建設機械(整地・運搬・積み込み用及び掘削用技能講習修了)	33	35	32
第一種衛生管理者	1	1	1	車両系建設機械(解体用)運転技能講習修了	12	13	12
安全衛生推進者養成講習修了	2	2	2	ショベルローダー等運転技能講習修了	24	24	24
安全管理者選任時研修修了	3	3	3	天井クレーン(5トン未満)特別教育修了	15	22	21
職長・安全衛生責任者教育修了	21	22	23	足場の組立て等作業主任者技能講習修了	6	6	5
一般毒物劇物取扱者	5	5	5	高所作業車運転特別教育修了	4	5	5
第二種酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習修了	54	56	54	石綿作業主任者技能講習修了	8	8	8
危険物取扱者　乙種4類	14	20	18	産業廃棄物中間処理施設技術管理士	4	4	5
有機溶剤作業主任者技能講習修了	33	32	32	PCB調査士	—	1	2

地域コミュニケーション

インターンシップの受け入れ

当社では廃棄物の処理、リサイクルに対する理解を深めていただくことを目的に、学生や地域の皆様の工場見学やインターンシップを積極的に受け入れています。

地域祭礼の応援

当社社員に参加者も多い、歴史ある"だんじり祭り"の活動を応援しています。

地域の清掃イベントなど 環境保全活動への参加

近隣の蜻蛉池公園で開催された草刈りイベントや放棄耕作地・放置竹林などに手入れを行う里山保全活動など、岸和田市主催の環境保全プロジェクトに参加しています。

安全パトロール

岸和田警察から委任を受け、地域のパトロールを行っています。地域の子供たちが安心して暮らせる街になることを願っています。

スポーツイベントへの参加

社員で野球チームをつくり地域での試合に参加しています。他にも、テニスや釣りを通じた社員間交流などもあります。

JUDOsの支援

柔道を通じ国際貢献を図る目的で活動する特定非営利活動法人JUDOs (理事長：井上康生氏)の活動に賛同し、支援しています。

第三者レビュー

山田法律事務所 代表弁護士
山田 浩介

SDGsの実践企業として、さらなる発展を

KOTOKU GROUPの掲げる経営理念「私たちの使命は、世界の環境保全に貢献することです。」は、SDGs12(持続可能な消費と生産のパターンを確保する)につながるものであり、経営目標である「先進的で持続可能な企業経営」、「処理技術の確立と新たな環境技術の創造」はそれぞれSDGs8(すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用および働きがいのある人間らしい仕事を推進する)、9(強靭なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る)につながっています。

そして、KOTOKU GROUPの事業内容は、化学産業の特殊な廃液などからのリサイクルを行うというものであり、事業を通じて資源循環に貢献されていることはもちろんのこと、環境・労働安全衛生マネジメントシステムを構築された上で運用を行い、企業の社会的責任を果たしつつ、働きがいのある職場環境の整備を行い、アルミニウム化合物溶液の製造方法特許を取得するなどのイノベーションへの挑戦を続けており、SDGsの達成に向けた数々の取り組みを実践されています。

今後も、SDGsという普遍的な目的の実現への取り組みを実践する企業として、世界の環境保全に貢献し、さらなる発展を遂げられることを期待しています。